

白樺学園高等学校包括連携協定事業（1学年）総括（案）

1 目的

包括連携協定に基づき、「議会活動の認知度向上」を図るとともに「若い世代の考え方を政策に反映」し「まちづくりに参加する機会」を目的とする。

2 実施内容

- (1) 事前学習 1月24日（火）
- (2) フィールドワーク（議場体験） 1月30日（月）～2月2日（木）

3 実施事業の振り返り

(1) 事前学習について

昨年度から実施の学校へ出向いての事前学習については、翌週の議場体験への連続性を意識し取り組んだ。4クラス、1日で事前学習を終え、参加議員の共通認識を図ることができた。また、生徒から事前学習が議場体験に活かされたとの多くの感想があった。今後もさらに生徒にとってわかりやすい事前学習の内容を明確にし、取り組む必要がある。

(2) フィールドワーク（議場体験）について

クラス2班体制での議場体験であった。生徒全員が議場において、それぞれ班の様子、役割を知ることができこの形式での議場体験は継続したい。生徒からは議会の仕組みが分かり、いい経験になった。地域に少しでも貢献出来たらなど、多くの貴重な声をいただいた。

4 今後に向けて

- (1) 学校との振り返り、協議を早期に進め、今後の連携協定事業の共通認識を図っていく。
- (2) 地方議会の体験を通じて、その仕組みを理解し、地域社会の一員としての自覚の形成、将来の主権者としての意識の醸成という学校の事業目標と、議会としての主権者教育の推進という視点から、さらに連携を図り取り組む必要がある。